

# 碁楽連だより

9月号 第241号

発行日 平成23年9月1日(木)  
発行所 八王子の碁を楽しむ活いき連合  
住 所 八王子市みつ台2-13-12  
TEL (042) 691-3671  
発行人・磯部 信広  
編集者・三浦 和夫

## 碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高年者が、  
囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持で  
けるようにその機会を提供し、高年者の福祉の  
増進に寄与することを目的とする。

<http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/>

## 囲碁雑感

石川寿囲碁同好会会長 松本 健彦

6月号で「勝負の赤壁」と言う記事がありました。あの内容は一流棋士を育てるための、孔令文六段の連載記事を引用されていました。碁に限らず英才教育に関する記事で、我々・素人のへボ碁には縁遠い話ですが、この最後の部分に聶衛平の言葉として「碁が後世に残るとしたら、”芸”であってほしい」との記述があり感ずるところがありました。

若い頃はプロの棋譜を見ると、非常に深く考え抜かれた一手に驚嘆を覚えました。昔は対局に時間制限がなく、長時間考えた末の一手もあったようです。最近では「囲碁も頭のスポーツ」と言われるように、プロの碁も激しくキッタハッタの碁が多くなり(我々には面白いですが!!)、そうでないと勝てないようです。しかし、私は以前の考え抜かれた深淵の一手に深い敬意を感じ、自分もその様な一手を一度でも打てたらと思います。

娯楽連では数年前に6段となりましたが、少し甘いように感じます。ポカミスが多いのには目を覆いたくなります。自分の段位は人によって、“もっと高段になりたい”、“実力以上に高段で勝てない”など色々ですが、私も段が上がるたびに、相手の置石が増え、勝てないと思いましたが段々慣れてくるものようです。少し背伸びした段位は良いのかもしれませんが。

ただ、私達の碁は趣味の範囲のものであり、あまり昇段や勝ちに拘ることなく、楽しく打ちたいものです。また、相手を不快にさせず、礼儀正しい囲碁を打ちたいと思います。8月号で囲碁のマナーの記事がありましたが、私も無意識に碁笥の石をいじり、ガシャガシャ音を立て、周りに迷惑をかけることがあり、最近は極力石を打つ時に碁笥に手を入れるよう努めています。

私の碁に対する雑感を書き殴りましたが、今年は碁楽連の競技担当として、各地区大会に出向いています。各地区大会の折はよろしくお願ひいたします。

## 第21回 活きいき囲碁大会のご案内

### 長房大会

日時 平成23年10月2日(日) 受付 午前9時00分～9時30分  
会場 長房ふれあい館(長房町588 都営長房西1号棟1階 Tel 669-1433)  
申込先 会長・安西 実 城山手1-14-6 Tel・Fax 663-6212  
申込期限 9月18日

### 川口やまゆり大会

日時 平成23年10月16日(日) 受付 午前9時00分～9時30分  
会場 川口市民センター(川口町3838 川口やまゆり館内 Tel 654-0722)  
申込先 会長・松崎邦夫 川口町2155-2 Tel・Fax 654-5763  
申込期限 10月2日

### 2大会とも

主催 各寿囲碁同好会  
後援 日本棋院 八王子市 八王子市教育委員会  
参加資格 市内に居住している60歳以上で10級以上の囲碁愛好者  
参加費 700円(弁当代を含む) 非会員 800円  
競技方法 2ないし3のクラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。  
申込方法 できるだけ同好会の会長を通して申し込んでください。

## 第21回 活きいき石川囲碁大会の結果

参加者 7月24日(日) 於 石川市民センター

石川	浅川	恩方	元八	中野	大和田	由木	北野	川口	計
19	5	3	2	5	7	1	6	1	49

Aクラス 20名

優勝: 松本健彦 石川/6段 準優勝: 山本数英 川口/5段 3位: 二宮 学 石川/4段

Bクラス 16名

優勝: 浜道 進 中野/3段→4段 準優勝: 平松隆治 石川/3段 3位: 梶原和夫 浅川/2段

Cクラス 13名

優勝: 本間邦夫 石川/初段→2段 準優勝: 長谷山敏幸 大和田/1級 3位: 佐藤正宏 元八/5級

## 第21回 活いき台町囲碁大会の結果

参加者

8月21日(日) 於 台町市民センター

台町	浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	由木	北野	長房	川口	計
19	8	7	3	1	6	6	3	4	3	2	62

Aクラス 22名

優勝：高本 衛 台町/7段 準優勝：吉田信夫 台町/6段 3位：五十嵐寛 恩方/7段

Bクラス 20名

優勝：望月毅士 中野/3段→4段 準優勝：小沢正巳 恩方/4段 3位：山崎 臣 元八/3段

Cクラス 20名

優勝：根岸重利 大和田/3級→2級 準優勝：大谷敬造 台町/2段 3位：長島健治 由木/1級

## 投稿

### なでしこの舞、碁老人の舞

北野寿囲碁同好会相談役 刀根 正樹

『なでしこを ほめ惜しみけり 光堂』

7月19日のワールドカップ女子の決勝戦であった。私は朝の3時から、テレビにかじりついた。『相手が悪い。勝てるはずはない』と思った。巨人をそろえた世界ランク1位の米国。開始して間もなく、女神アテネのごとき美女が、先制点をたたき出した。戦いはまるで米国のペースであった。

やまとなでしこはそれでも舞うように走った。ここまで強敵のドイツやスウェーデンを倒したのは、なでしこの粘りと精神力であった。白いユニホームの米国、群青の日本。それらは碁石のように並べられ、動き、入り乱れて流れて行く。私はサッカーの動きが、棋譜のように美しく輝いて見えた。それは整然と並び、変化して散り、密集しては激しく流れる。

『世の人の見つけぬ花や 駆ける姫』

なでしこは日本国内では不遇であった。企業などで働きながらプレーする選手が多い。社会的に低い地位に置かれていた。男子サッカー選手とは比較にならなかった。

突然大きな歓声がとどろいた。テレビ画面の中を、なでしこたちが夢中で駆けている。小柄な宮間選手がこぼれているボールをすばやくゴールしたのである。試合は延長戦に入った。

私はテレビのスイッチを切り、会社にむかった。食品スーパーは大騒ぎをしている。福島県の牛肉からセシウムが検出され、流通業界はテンヤワンヤであった。私の頭の中は混乱していた。なでしこの舞と棋譜と牛肉のセシウムが入り乱れて、溶岩のように煮えたぎり、やがて火口から天高く吹き上がるのかと思った。

電車バスを乗り継ぎ、会社に到着すると、食堂のテレビのスイッチを入れた。延長戦でも決着がつかず、PK戦をしていた。熊谷選手の興奮した若々しい顔が大写しになった。その魅力に私の胸は高鳴った。彼女は蹴った。「入った。入りました」とアナウンサーが絶叫した。私の中にある火山が爆発した。目まいがして、椅子にへたり込んだ。

画面にはなでしこ達が笑顔で駆けまわっている。米国の選手は硬直して立ちすくんでいる。「仕事中にテレビを見てはいけませんね」と誰かが怒った。そういいながら皆テレビを見ていた。私の心はうれしさに舞い上がっていた。なでしことともに、コートを駆けまわっていた。彼女達の笑顔がまわりにあふれていた。私は囲碁の講釈をした。「なでしこの守りは見事だった。碁にも守りが最も重要だ。澤選手の延長戦の同点シュート。あれは手筋だね。切れ味すばらしい手筋だった。そして最後まであきらめずに戦う精神力。これこそが碁の上達の極意だろう」。

菅首相も国会答弁で、「私もなでしこの勇気もらった。最後まであきらめず、ねばり強くたたかう」と胸を張った。彼も囲碁5段である。

女子プロゴルファーの宮里藍選手は、「すごすぎる。涙が止まらないよー」とテレビ観戦の感想を語った。直後に行われたフランスのエビアンマスターズで活躍、今年度初優勝、米ツアー7度目の勝利を手にした。『日本が大変な時に勝ててうれしい』と泣いた。

ニューヨークタイムスによれば、『決勝戦の延長同点ゴールは、絶対負けない精神を象徴するものだった。それは今年初めの破壊的な地震から立ち直りつつある、日本の姿勢を示した』と記した。

『あらたうと ワールドカップに 日の光』

## 天空の星を眺めていると

恩方寿囲碁同好会 長谷川幸二

喧騒とスモッグに覆われていた都心から住居を移したのは37年前のことです。八王子の厳しい寒さには閉口しましたが、澄んだ夜空に輝く星座の美しさを今でも覚えています。都心から離れた八王子も昨今は街の明かりが邪魔をして、夜空の美しい星を眺めるのが難しくなりました。天体望遠鏡はお蔵入りしています。

15年も前のことですが、各国の天体観測所が集まるハワイ島のマウナケア山頂(4,205m)で眺めた天空は、その壮大な広がりと神秘的な美しさに、息が止まるほどの感動を受けました。日本で見る星は平面に散らばっていますが、マウナケア山の天空はまさに3次元の宇宙が広がっているのです。無数の明るい星、小さな星が立体的に透通って輝き、近くの星と遠い星が区別できるのです。天の川(銀河)は遙か彼方まで延びるスターダストの華麗な流れでした。

米国の観測衛星ハッブル望遠鏡は120億光年の彼方まで膨張を続ける宇宙の果てを捕らえています。太陽系が属している銀河から190万光年も離れたアンドロメダ星雲は、肉眼でも見えますが、天体望遠鏡で観ると斜めに傾いた見事な渦巻状星雲でした。190万年前の宇宙の姿をみせるロマンの世界です。

永遠に輝くと思われる太陽(恒星)もいずれは核の融合反応が終わりを告げ、自らの収縮重力により爆発を起し、ガス雲(超新星)となって宇宙空間へ拡散していくのです。恒星にはその大きさと質量の割合によって超大な収縮重力を生じ、全ての物質と光まで吸収しブラックホールとなって、その姿を失う星もあるようです。遠く銀河系の彼方からは、気まぐれな長い尾を引いた彗星が現われ、近くの天空には流星群が星の雨を降させます。宇宙の果てを想像し夜空に生じる自然界の不思議な現象を知るほどに、現実の地球上の出来事の儚さを実感します。

東電福島原発の事故は、世界に誇る高度な技術と日本の管理体制の信頼を失っただけでなく、孫の代に至るまで生存を脅かす大惨事になってしまいました。原子力発電は、核の分裂や融合反応によって生じる熱エネルギーを利用するために、星の内部に生じる神秘的な諸現象を真似して、物理科学の智恵を借りて制御しようとするものです。120億光年の大宇宙が作り出した自然現象を、僅か1万年の時空を生きただけの人間が未完成の智恵で制覇できる

のでしょうか。

福島原発の事故後、計画停電で八王子市内も街の光は消え、真っ暗な夜が何日か続きました。この時は37年前の夜空が甦り。久しぶりに八王子で美しい星座を楽しむことが出来ました。春の夜空には、おおくま座、カシオペア、おとめ座、しし座などが輝いています。2世紀後半ごろ古代人は天空に輝く恒星を見つめ、神話伝説の人物や動物などと結び付けた星座の姿を考え、想像の世界を創り出したのです。

淡く広がる星座を眺めながら、わが八王子の将来の姿を想像してみました。空から見ると八王子は関東平野の西の果てに位置し、高尾山以西は山地が続き、地方都市であるのが判ります。多摩川以東が東京圏なのでしょう。多摩川以西を東京圏から分離し、八王子地域を人間味の溢れる田園都市に創り換えるのです。

生活環境を、経済重視の東南アジア系から人間性重視の北ヨーロッパ系に変革するのです。欧米の地方都市に多く見られる、川と森に囲まれた美しい都をめざします。広い面積と自然に囲まれた地域毎の特性を生かし、新しい都に創り変えるのです。利便性は失っても周辺部に人口を分散し、地域毎に人間性を取り戻せる環境を創ります。街には大木が繁る大きな池のある公園を配置し、川辺には流れに沿って森と林を創ります。八王子から全ての広告表示物・電柱電線を撤去し、建築物の形や色彩は環境に合わせます。無機質で秩序のないコンクリートジャングル都市から「おさらば」するのです。

これからの田園都市を実現するには、八王子も大災害に見舞われ、街が破壊され、全てを崩失しなければならぬのでしょうか。現実は厳しいようです。

“ 星座から 見れば哀しき 八王子 ”

“ 流れ星 吉に変われと 多摩の郷 ”

八王子の将来の姿は儚い夢でした。 囲碁の世界には想像に満ちた無限の宇宙があります。そこに繰広げる戦いには、大竹九段の美学あり、石田芳夫九段の人間コンピュータあり、王銘碗九段の夢の構想あり、梶原武雄九段の幻想的な捨石戦法があります。それぞれには、独自の思想に裏打ちされた戦いのロマンが秘められているようです。武宮正樹九段の宇宙流にみられる中央を重視した布石と中盤戦の戦い方は魅惑的です。隅や辺の領域を先行されても、中央を厚くして未来に夢を託します。渦巻型に敵陣を攻略し、流れ星を捨石にして散らばる星座を強化する楽しみがあります。

囲碁は物理的には  $19 \times 19 = 361$  の有限世界ですが、戦いには宇宙の広さがあります。武宮宇宙流を習得できなくとも、星を眺め宇宙のさまざまな魅惑的な振る舞いを知るにつけ、囲碁の戦いにも活かせないかと勝手な想像に耽っています。

“ 星座みて ハタと膝打つ 布石戦 ”

“ 星流れ 消えたフリして 手筋あり ”

## 囲碁から学ぶ人生訓

北野寿囲碁同好会 稲葉 重雄

北野寿囲碁同好会に所属して日も浅い者ですが、毎週日曜日の対局日を楽しみにしております。私も若いとき同好会らしいグループの幹事をやった経験から会報の投稿者が少ないことに頭を悩めたものでした。7月号に4頁は寂しいと後記を見てこれを書きました。毎回のTさんの文には暖かさや素養の豊かさを感じながら読んでおります。囲碁、将棋は他のゲームと違いお酒は不要です。また、エチケットでもあります。勝負は時の運

と呼べないゲームだからです。ひたすら“読む”ゲームだからと思います。

私はどこの碁会所でも相手の職業、住む場所、出自も知らずに打つ。他のゲームでは見られないものでしょう。もっとも今の私はリタイヤした老人の身で、明かす何ものもないのですが。

北野同好会は会員が多く他をうらやませているようですが、北野市民ホールの設備の良さ、交通の便、何よりも幹事の努力を感じます。

私は現在5段で打ちますが、尚迷いがあります。高段者の瞬間的な判断力に到達するには、番数を重ねるのか、読みの訓練なのかです。Iサロンで席亭の初心者指導を側で聴くのですが、理論と実戦は全く違ってくるのは何故だろうかと、しばしば考えます。

私は勝負に伴いがちな感情こそ障碍となっているのではないかと気附きました。高圧的な打ち方や奔放な打ち廻しに合ったとき、頭に血がのぼるのが判ります。プロは囲碁でも将棋でも対局後、双方共に眼の充血がないことをTVなどで見るとおそらくプロは頭の働きのみで打つので感情的なものを持たない為ではないかと思えます。アマチュアは常に「頭にくる」ので充血するようです。我々は日頃の生活でも同じことが言えましょう。冷静な判断を持ち続けたいものです。高段者Kは言う。「平凡でいい、同じパターンでいい、これで2目得3目プラスの積み重ねが碁だ」と教えてくれました。人生の教えそのものではないでしょうか。

## ◎碁楽連副会長に山崎理事が就任

第5回理事会に於いて山崎理事(台町)が碁楽連副会長に就任しました。宜しくお願いします。

## ◎前期地区寿囲碁同好会タイトル大会について

タイトル獲得者および準優勝者を9月15日まで担当理事(三浦)までお知らせください。

## ◎第5回碁楽連理事会報告

日時 平成23年7月23日(土) 9:00~12:00

出席者 理事5名(欠席:井出理事)

議案 1. 報告事項

2. 副会長の指名について

3. 諮問委員会からの調査依頼事項の調査結果について

4. その他

編集後記 今号は久しぶりに三つの投稿がありました。ご協力ありがとうございました。

これからもよろしくお願ひします。

暑さもあと少し、元気にこの夏をのりきりましょう。